



あたらしい本

第251号 2024. 11. 15 発行（こども版）



たくさんよんでくださいね！

「ふしぎなはこ」パオロ・フロイエッティ/え イザベッラ・パリア/ぶん

ひょうろんしゃ
評論社（えほん 幼児向き）

もり 森のまんなかに^{はこ}箱がひとつ。どうぶつたちは^{はこ}箱のなかにいる“だれかさん”に出^でておいでと呼びかけますが…。はずかしがりやの“だれかさん”は、ともだちのやさしさにこたえてくれるでしょう^よか。

「ゆきのもりのおくりもの」 リンテ・ファース/ぶん え にしむら ゆ み やく
文・絵 西村 由美/訳

いわなみしょてん
岩波書店（えほん3～5歳）

もうすぐクリスマス。でも、パパは^{おおいそが}大忙しで、ソフィーはひとりぼっち。クリスマスの朝^{あさ}、すてきなことを^{さが}探^でしに出かけると、ふぶきの中に一頭のヘラジカが^{あらわ}現れて…。オーロラゆらめく^{ほくおう}北欧の冬^{ふゆ}の、^{こころ}心^{はなし}あたたまるお話。

「こてんちゃんがきた！」いとう みく/さく かのう かりん/え

りろんしゃ
理論社（よみもの 小初向き）

ゆずくんのクラスにやってきたこてんちゃんは、ランドセルをしょわずに^{はね}羽があり、^{うわば}上履きではなく^{げ た}下駄をはいています。^{きょうしつ}教室でも^{ぼうし}帽子をとらないし、^{あつ}暑くなくてもうちわであおぎ…。^{ちが}違いがいっぱいでも、うまくやれるでしょうか？

「^{みどり}緑^はの葉っぱのパン」 ^{きたみ}北見 ^{ようこ}葉胡/え ^{もがみ}最上 ^{いっぺい}一平/ぶん
文・絵

しんにほんしゅっぱんしゃ
新日本出版社（えほん 小初向き）

^{おんな}女の子のお父さんは、おいしいパンを焼くのが^い生きがいのパン職人^{しよくにん}でした。やっ^{ゆめ}と夢をかなえて^{みせ}お店を持^もったのですが、^{ばくげき}爆撃にあつてあとかたもなく^{こわ}壊されてしまい…。^{へいわ}平和への^{ねが}願いがこめられた^{えほん}絵本。

「ふみきりペンギン」おくはら ゆめ/作・絵 あかね書房（よみもの 小中向き）

ゆうとはペンギンの話を、るりは白いへびの噂を、ななこは鏡のライオンを、そうすけはフクロウの占いを、聞いたり、見たり、感じたり…。

「ふつうとは？」を決めつけず「自分らしさ」を肯定する、ある町の小学3年生の物語。

「こそあどの森のひみつの場所」 Other Stories of the Kosoado Woods

岡田 淳/作 理論社（よみもの 小中、小上向き）

だれにでも、胸の中に秘めた大切なできごとがある一。スキッパー、トマトさん、ポットさん、スミレさん、ギーコさん、トワイエさん、シナモン。7人の森のひとたちそれぞれの、ひみつの小さな物語をおさめた短編集。

「銀樹」 森の 森 ちよみち/著 日下 明/絵 アリス館（よみもの 小上向き）

家族をなくしたシンは、朽葉の里の薬師・マボウと共に、山奥で生活することに。ある日、都の薬師が、銀樹の秘薬を求めてやってくるが…。なんとか道を見いだそうとする人々の姿を描く。

「森に帰らなかったカラス」 ジーン・ウィリス/作 山崎 美紀/訳

徳間書店（よみもの 小上向き）

1957年、ロンドン郊外の町。少年ミックはケガをしたカラスのひなを助けた。ひなはミックになつき、やがて地域の人気者になるが…。のちにロンドン動物園の主任飼育員となった少年の、実話にもとづく心あたたまる物語。

さかとしりつちゅうおうとしょかん
坂戸市立中央図書館 TEL281-6369

※図書館流通センター「新刊全点案内」より引用